

T 公民館だより Toyosato

豊里コミュニティ推進協議会
豊里公民館広報

9 月号

平成27年9月1日発行



ときめきキッズ 花山サマーキャンプ

大自然の夏 すてきな体験

ときめきキッズクラブ『花山サマーキャンプ』が8月4日～5日の2日間、国立花山青少年自然の家で行われました。



今回は46名の小学生と20【赤い鳥】が参加。大自然に囲まれたすばらしい環境のも



友情を深め合ったキャンプファイヤー

と、万華鏡づくりや沢遊び、キャンプファイヤー、野外炊飯(ピザづくり)など、いろいろな体験をとおして、豊かな心を育て、協調性を学びながらリーダーの養成、

仲間づくりを進めることがこの合宿の主な目的です。

子ども達は、ジュニアリーダーの指導のもとで、元気いっぱい活動し、多くを学び、夏休みの良い思い出になった様子でした。



おいしくできました(ピザづくり)

シリーズ ③

『やねだん』に学ぶ 地域再生



シリーズ最終回の本号は、先月号に引き続き『やねだん』の実践活動と集落の人々の様子をご紹介します。

お年寄りを守る

こうした財源をもとに、自治会費を7千円から4千円に値下げし、さらに独り暮らしのお年寄りの家に無料で緊急警報装置や煙感知器を設置したほか、広報無線を全戸に整備しました。

「未来館」の建設

やねだんの評判が高まるにつれて、全国各地からの視察が増えてきました。このため、2004年にはおもてなしのための食堂「未来館」を建設しました。未来館で



未来館のそばセットと焼酎やねだん

無農薬野菜を使った手打ちそばセットがヒット商品になりました。また、土着菌による土壌改良でカライモの品質が向上し、これを原料とした焼酎【やねだん】を開発、販売しました。

ボーナスの支給

2006年になると、自主財源が500万円に達し、全世帯に1万円ずつのボーナスを支給しました。ボーナス袋もちろん手作りです。

生きた福祉に還元

2007年も自主財源が438万円になり、豊重さんは再びボーナスの支給を提案。ところが、集落の人たちはそれを断りました。生きた福祉に使おうという希望で

した。そこで、足の弱い18人の集落民にシルバーカーを贈ることになりました。

定住アーティストを公募

柳谷地区も例にもれず、空き家が年々増加する状況にありました。豊重さんは、その空き家の活用に注目し、所有者の承諾を得て、集落住民総出で修理、清掃し、その名も『迎賓館』と名付けて『やねだん』に住みたい人を全国に公募しました。地域再生の基本は文化向上との豊重さんの考えから、アーティストを募集したのです。その結果、2007年には画家夫婦、陶芸家などの芸術家が定住し、その後写真家、ガラス工芸作家夫婦が定住しました。

『やねだん』への定住者はアーティストだけでなく、『やねだん』出身者夫婦のUターンもあり、減り続けていた集落の人口は、この年増加に転じました。

子から親へのメッセージ

豊重さんは、自治公民館長就任当初から無線放送を

利用し、集落の絆づくりに努めてきました。ふるさとを遠く離れ、都会で暮らす子から『やねだん』に住む家族への心温まるメッセージ放送もその一つです。

この放送は、母の日と父の日、敬老の日の年3回が特別放送で、集落の高校生が、家族やふるさとへの思いをこめたそのメッセージを代読します。この放送を聞くことによって、集落全体の心の絆づくりに力を発揮しているのです。

深まる絆

集落の人たちと定住のアーティストとの交流は、豊重さんにとって予想を超えるすばらしいものでした。画家による集落民の肖像画制作や、写真家による集落民一人一人の豊かな表情を撮影した写真ギャラリーの展示、陶芸家による陶芸教室など、その交流によって、集落のすべての人たちが生き生きと輝いていたのです。

『やねだん』に定住したアーティストたちは、今や集落の中に溶け込み、住民の一員となっています。



総勢1,200人による総踊り よっちゃれ



優雅な演舞を披露した「新琴似天舞龍神」(左)



抜群の躍動感 北海道大学「縁」(右)



勇壮な旗の競演「響旗乱舞」



次から次へと繰り出す各チームのダイナミックに躍動する息の合った見事な演舞に、沿道から歓声と盛んな声援がおくられました。

2015 YOSAKOI & ねぶた in とよさと が8月9日(日)、豊里駅前通りで22,000人を集め、盛大に開かれました。

日中は降ったり止んだりのあいにくの天気でしたが、夕方から雨は完全にあがり、熱気あふれる祭り日和となりました。

今年のおよこいは、北海道や岩手など各地から招待4チームを含む44チーム、



華麗に舞う石巻好文館高校のチアリーディングチーム

熱気！ 躍動！ 絢爛！ 2015 YOSAKOI & ねぶた in とよさと 豊里駅前通り 22,000人の人出で賑わう

約1,200名の演舞者が集結。また、ねぶたは11地区の町内会・子ども会と2団体の合わせて13基の山車が参加しました。

午後0時30分からの開会式では、千葉正一実行委員長、布施孝尚市長の挨拶と来賓多数からの祝辞のあと、総勢1,200人による総踊りよっちゃれで、祭りが盛大にスタートしました。



左から最優秀賞の浦軒、優秀賞の竹花と加々巻の各町内会



左から特別賞のニツ屋と大曲、アニメ大賞の横町の各町内会

いつもありがとうございます

遠藤昭治さん(鵜波)から手づくり民具寄贈

鵜波の遠藤昭治さんから藁草(いぐさ)で編み込んだ蓑(みの)やわらぐつ、わらじなどの大変見事な民具を大量にいただきました。

民具製作は遠藤さんの趣味の一つで、これまでたびたび公民館に寄贈していただいています。

頂戴した民具は、遠藤さんの意向により、今回も平筒沼学習館を訪れた方に差

し上げることにしました。学習館来訪者には、これまでも大変喜ばれています。遠藤昭治さん、いつもありがとうございます



遠藤昭治さんと手づくりの民具

9月の公民館行事

月 日	行 事 内 容	場 所
9月6日(日)	豊里地区市民大運動会	豊里運動公園
9月10日(木)	フラ教室	公民館柔道場
9月17日(木)	シニアセミナー	公民館柔道場
9月24日(木)	フラ教室	公民館柔道場

10月18日に『やねだん』リーダー豊重哲郎氏による講演会を開催します。実体験に基づく、豊重氏が取り組む地域再生の生の声を是非お聞き下さい。『やねだん』の活動記録DVDをお貸しします。この機会に是非ご覧下さい。

ユニークスタンプづくり 第3回女性セミナー

8月24日公民館中ホールにおいて、女性セミナー第3回学習会を開催しました。

今回は、消しゴムはんこ製作を学びます。講師には工房プレキブア楽人宇宙、大崎市在住の鈴木えり子先生をお迎えし、12名が参加して花や葉の図案などを彫

るオリジナルポストカード製作に取り組みました。

仕上がりとは逆の彫り方のため、難しさもあったものの、それぞれすばらしい出来ばえで、世界に一つしかないユニークなスタンプが完成しました。



消しゴムを使ったユニークなスタンプづくり

編集後記

夏祭りは大盛会のうちに終わりました。雨雲も夕方にはあの熱気で吹き飛んでしまいました。よさこいやねぶたに参加下さった皆さん、沿道の皆さん、そして実行委員会の皆さんに感謝申し上げます。(佐々木)